



研究者名※	宮下 治 MIYASHITA Osamu	学位※	博士(学校教育学) 教育学修士
所属※	人間社会学部 教育学科	職名※	特任教授
連絡先	miyashitao@fc.jwu.ac.jp		
URL			
researchmap※	https://researchmap.jp/read0213087		
研究分野※	社会科学、教育学、教科教育学		
研究キーワード※	学校教育、教師教育、カリキュラム論、教育方法、理科教育		
共同研究・競争的資金等の研究課題	指導主事の資質・能力を向上する研修プログラムのR-PDCAサイクル開発 (科学研究費・基盤C・研究代表者、2022～2025年予定) 開放制における教員養成と教職大学院とを接続させるカリキュラム開発に係る研究 (科学研究費・基盤C・研究代表者、2014～2017年、2017～2022年)		
社会貢献・産学官連携活動等	神奈川県・神奈川県鎌倉市教育委員会 青少年指導員(2000年～2020年) 全日本科学教育振興委員会 日本学生科学賞中央審査委員会・委員(2006年～現在) 東京都武蔵野市教育委員会 市立第五中学校学校運営協議会・委員(2008年～2012年) 東京都三鷹市教育委員会 市立三鷹中央学園コミュニティスクール委員会・参与(2008年～2012年) 神奈川県鎌倉市教育委員会 市立関谷小学校学校評議員会・委員(2019年～現在)		
受賞歴	日本地学教育学会学術奨励賞(1983年) 日本地学教育学会教育実践優秀賞(2002年) 関東学院大学教職員顕彰教育賞(2011年)		

研究領域	学校教育、教師教育、カリキュラム論	(SDGs)
研究テーマ※	指導主事の資質・能力を向上する研修プログラムの開発研究	
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	<p>【研究の背景・目的・内容】 各教育委員会には指導主事という職の人を配置している。しかし、近年、指導主事が教育課程や学習指導に対して適切な指導・助言ができないなど、指導主事の資質・能力の低下が、学校教育において大きな問題となっている。学校教育に関する専門的事項について各学校を指導・助言する立場にある指導主事の資質・能力を高めていくことが、今後の学校教育の発展を大きく左右することに繋がっていくと強く考えている。本研究の目的は、教育委員会指導主事(以下、指導主事)の職務及び研修に対する実態調査を通して、学校教育の発展に貢献する指導主事の資質能力論を分析し、究極的には、教師教育の質的向上に資する教育行政(指導主事)の在り方を検討することにある。</p> <p>【応用例、研究の展望】 (1). 教育委員会指導主事の資質・能力に関する実態について、教育委員会事務局や 学校長にアンケート調査や訪問調査を行い、現状と課題を明らかにしていく。 (2). これまでに、各教育委員会が作成してきた「指導主事の育成指標」を収集し、指導 主事の資質・能力を向上させる観点から分析し、問題点を明らかにしていく。 (3). 上記(1)、(2)から明らかとなった課題を解決し、指導主事の資質・能力を向上させることのできる研修プログラムの開発を行う。</p> <p>【研究方法の特色】 これまでに、学校教員の指導力向上を図る研修プログラム開発研究は成されてきているが、教育委員会指導主事の資質・能力向上を図る研修プログラム開発研究は成されてきていない。ここに、本研究の特色と独創性がある。</p>	
本研究関連特許・論文等	<p>・宮下 治、「教育委員会指導主事の研修プログラム開発のための基礎研究」, 帝京平成大学紀要, 第 32 巻, p.197-202, 2021 年.</p> <p>・宮下 治、「教育委員会指導主事の資質・能力の向上を図る研修の現状と課題」, 帝京平成大学紀要, 第 33 巻, p.141-152, 2022 年.</p>	
共同研究・外部機関との連携への期待	<p>・教育委員会との共同研究</p> <p>・教職大学院との共同研究</p>	